

< 本時の内容 > 50分計画

過程	学習内容	学習形態	指導上の留意点	評価規準 【評価の観点】〈評価方法〉
導入	○前時の学習を振り返る。 ○本時の学習内容を知る。	一斉	◎講師を紹介する。 ○学級紹介をして、雰囲気 を和ませる。	
	めあて 消費者の権利と責任について考えを深め、自分の消費行動の見通しを 立てていこう。			
展開	オンラインゲームに対する 質問に答える。	個別	○ワークシートを配布す る。 1 ①②を回答させる。	
	消費者の権利と責任 ○動画を視聴しながら、 消費者の8つの権利と 5つの責任とを振り返る。	一斉	○動画を視聴する(5分間) ○黒板で権利と責任のプレ ートを提示する。	
	○オンラインゲームの課金 事例を取りあげ、問題と責 任について、考えを深めて いく。	一斉	◎講師が、事例を紹介する。 ワークシート2 「問題点に赤線を引いて いこう」 事例を大きな紙で提示す る。	○消費者の権利と責 任にあてはまる場 面を考え、自分の 消費行動を工夫で きる。 【思考・判断・表現】 〈ワークシート・ 行動観察〉
	○発問① 「問題点を交流しよう。」 ペアで交流する。 全体で考えていく。	ペア	○発問① 「問題点を交流しよう。」 ペアで交流させる。	
○発問② 「問題点にかかわる権利と 責任を考えよう。」 権利と責任シートを提示 して、黒板に掲示した紙 を使って答えていく。	一斉	◎講師が赤線を引いて解説 する。 ○発問② 「問題点にかかわる権利と 責任を考えよう。」 ◎講師が解説していく。 ※権利を放棄していること に気付かせる。	十分満足できると 判断される状況	
A個人で記入する。 B班で交流する。 C発表する。	個別 班 一斉	○ワークシート3 (1) 「このようなトラブルにな らないために、どうした らよかったですでしょうか。」 個人、班、全体で考えさ せる。 ◎講師が評価していく。	○事例を自分事とし て捉え、自らの現在 の生活、状況や将来の 自分をイメージした 状態で考えることが できている。 努力を要する状況 への手立て	
○学習内容を振り返る。	一斉	○ワークシート3 (2) を 記入させる。 ○ワークシートを提出させ る。		
まとめ				

準備物

- ①TVモニター(タブレット) ②ワークシート ③事例の大きな紙
④8つの権利と5つの責任の磁石プレート
⑤赤線に触れる権利と責任の磁石プレート ⑥ホワイトボード・マーカー